兵庫県商工新聞

編集
兵商連新聞編集委員会

発行
兵庫県商工団体連合会
〒652-0811
神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎（078）341-0563（代）
FAX（078）341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email：info@hyoshoren.co.jp

2023年12月
第376号

商（あきない）のマインドを語り合う
経営力アップ交流会

11月17日、兵庫県中小商工業研究所と兵商連が共催し、第28回の会員景況調査の報告と合わせ、経営力交流会を開きました。

「コロナ禍で開業」「コロナ禍でまったく商売が立ち行かなくなった」などの困難に「ピンチはチャンス」「苦労も笑顔と元気で吹っ飛ばそう」とパワーある会員の皆さんに、商売を語って頂きました。

パネルディスカッションのコーディネーターはいつものように、研究所の近藤義晴所長。パネラーの皆さんの熱い語りを紹介します。

利用者さんに寄り添った支援・仕事を
黒石 拓久さん【神戸西民商】

就労継続支援A型の作業所をJR土山駅近くで開いています。就労継続支援A型とは、障害のある方へ働く機会の提供を行うとともに、一般企業などで働くために必要なスキルの向上をサポートする障害福祉サービスです。一般の方と同じように雇用契約を結び、働いた分の給料を利用者さんにお渡しする。最低賃金は保障しています。

仕事があれば利益が出しやすい仕組みになっています。今、携帯の保護フィルムの梱包、チラシの配布などをしてもらっていますが、今後は農業なども考えています。仕事の難易度も考えながら、一人ひとりの利用者さんにあった仕事を見つける。定着を重点に考えています。価値観、考え方は現実に合わせていく、社会のルールに合うように努め、売上を意識しています。

しかし、国の決まりを守り。売上を上げていかないといけないのでそこが大変です。

現在、正社員のスタッフは6人、利用者さんは20人がフルで働いています。

今こそ民商共済会の出番
命と健康を守る学習交流会
【兵商連共済会】

11月19日、兵庫県民会館で第22回命と健康を守る学習交流会を開催し17民商から62人が参加しました。

報告では、兵商連共済会 豊村和正理事長が「コロナの影響は残っているが、4年ぶりの学習交流会の開催となった。社会保障が大改悪され、国が憲法をないがしろにするもとで、命と健康を守る共済運動の役割は一層大きくなっている。春の運動で同時加入の徹底に加え、配偶者や従業員のセット加入で4月1日現勢の回復・突破を」と呼びかけました。

学習交流会は2つの講演と3つの分科会が行われ、参加者から「社会保障の改悪が良くわかり、このままでは将来不安しかない。何としても政権を変えなければと感じた」などの感想が寄せられました。

第28回RIIBレポート（会員景況調査）の報告

芸術文化観光専門職大学 専任講師
瓶内 栄作さん

半期に一度行っているRIIBレポート（会員景況調査）は、303者から報告をいただきました。

前回から見れば、業種別の傾向もありますが、全体として「悪い」程度が少しずつ回復してきている状況です。しかし、仕入れ単価の上昇、最低賃金の上昇、人材不足など経営的にはきびしさが続き、足元で景気が回復している実感がない。そのような中、お客さんから何が喜ばれるのか、生産性をどう高めていくかが問われています。一人ひとりの自社の価値を高め、地域で商売を続けましょう。

武庫川女子大学経営学部 講師
山下 紗矢佳さん

今日のパネラーの皆さんは、3人とも自分の商売をいきいきと語り、企業家精神にみちあふれていたご報告でした。

元気さがこの集まりの中で伝わってくる。ここで働きたい、ここで食事したい、この店を利用したい、来てくださる方にそう思ってもらえるような工夫や努力がつまっていました。結果、景気の見方も気持ちで見え方が変わってくることもあります。きびしい時代ですが、このような集まりを大切に、学びをつなぎましょう。

顧客確保に力を入れて
全 成希さん【兵庫民商】

須磨区・板宿で焼肉店を経営しています。コロナ禍が始まった1回目の緊急事態宣言のあと、26歳で開業。

お客さんが来るかどうかはわからない中、お店に足を運んでもらうために、周辺の焼肉屋より、20～50円を値下げし、量も増やして顧客確保に努めました。

今は、8割がリピーターのお客さん。顧客母数を増やすことが大切だと考えています。今年、兵庫区・新開地にもう1店舗を開きました。これから、事業者への卸、一般客への肉の販売も手掛けていきたい。

意識したのは7は商品力、3は技術と店の空間です。大手には財力で勝てない、技術とめききを持って7割をうめていきたい。そして、お客さんにいい雰囲気を与え満足していただくよう、努力しています。

現在、従業員は10人、店舗あたり3～4人のローテーションを組んでいます。

お客さんに喜んでもらえる衣装を
芦田 美由紀さん【葺合民商】

以前は、結婚式場やレストランなども手掛けていましたが、結婚式の貸衣装に絞りアットホームなご婚礼を喜んで頂いていました。

しかし、コロナ禍でまったく仕事が止まってしまいました。そこで、コロナ禍をチャンスに貸衣装別にターゲットを調査したり、従業員の研修に時間を充ててきました。

一般的には貸衣装は5000着を揃えるといわれていますが、小規模な貸衣装は100着未満のところもあります。婚礼規模は、50～60万円。コロナ明けにお客さんの要望も高まってくるのでそれに備え、新作の衣装や単価も調べ、入れ替えができるかを考えてきました。

ゼクシィなどの広告ではなく、ターゲットを25歳～35歳にしぼり、インスタやTikTokを検索エンジンに活用しています。お客さんにどう見せるかを考え集客を増やし、利益率を上げていくことに努めています。

もうかりまっか商

▼今、日本は何処に向かおうとしているのだろうか▼安保3文書に基づく大軍拡。その財源となる大増税はコロナ禍と物価高騰で苦しむ国民・中小業者を奈落の底に突き落とす悪法に他ならない▼軍拡財源法、防衛財源確保法等、あらゆる財源を削り拡充する軍事費は5年で43兆円、世界第3位に相当する▼さらに、医療、年金の積立金を取り崩して軍需産業を支援し、ゼネコン業者との談合による新基地建設で国土強靭化を強行している。まさに戦争する国そのもの▼先の悲惨な大戦の教訓も無く、大軍拡に邁進する政権にNO！の審判を。国民を蔑ろにした政権にこの国を任せる訳にはいかない▼10月1日に導入されたインボイス制度。来年1月からの電子帳簿保存法、4月からの税務相談停止命令制度の開始は、まさに民商弾圧につながる悪法。憲法で補償された自主申告制度への攻撃だ▼会員どうし知恵を寄せ合い、助け合う時。集まって話し合い、学習しつつ学び合い、悪法に危機感を持って行動しよう。

（K）

皆で民商を大きくしよう!

民商運動の継承、青年部を大きく

兵商連青年部協議会は、11月19日に開かれた全青協総会にむけて、「前総会時現勢を突破しよう」と、各民商にも呼びかけ、11月に52人の青年部員を増やし、昨年の前総会時現勢突破まであと8人と迫りました。

総会では、兵青協を代表し、神戸北の楠本学事務局員が神戸北民商の取り組みを発言しました。

総会成功へ 19人の部員拡大【神戸北民商青年部】

神戸北民商青年部は、10月28日に民商会員でもある「焼肉　一心」にて、数年ぶりとなる懇親会を開催し13人が参加しました。

民商では、コロナ前から青年部の活動が止まっていましたが、昨年8月にBBQをしたことをきっかけに活動を再開。今では定期的に記帳会を開くようになり、役員会も開けるようになりました。今回、懇親会をしようと話し合いました。

記帳会で顔見知りになり、活動の基盤ができつつあったこともあり、焼肉懇親会には8人の参加と昨年のBBQより参加者を増やすことに成功しました。

また、全青協総会にむけた拡大行動では、前田悠斗青年部長と事務局で対象者の一覧を出し電話かけや訪問活動をしたことで7人の部員拡大に成功しました。今後は忘年会などイベントを通じて、定例記帳会への参加者を増やすことを目標として、神戸北民商青年部の活動を続けていきたいと考えています。

（神戸北・楠本通信員）

平和と憲法を守ろう

憲法九条が軍事大国化を阻止する

憲法改悪ストップ兵庫県共同センター　速水二郎さん

11月3日、日本国憲法の公布77周年、あらためてその大切さを確認し合う神戸憲法集会が西区文化センターなでしこホールで開催し、400人が集まりました。

「文化の日」ということで、ピアニスト広瀬一葉さんが登場、ひとりオーケストラによる演奏となりました。ウクライナ戦争で再登場した「ひまわり」の演奏をはじめ、六甲おろしの時には拍手喝采でした。

早稲田大学教授の水島朝穂さんが、「『軍事大国化』への動きと憲法9条」と題して記念講演。50数枚の画像によるデータで解説しました。

最初に〝戦争のリアル〟―つまり歴史を振り返ると戦争には「周期」があると指摘しました。死の商人による兵器・武器の在庫一掃と新規兵器の威力確認のため、世界は戦争を繰り返してきた、「ロシアとウクライナ戦争」もこの姿が顕著だと説明しました。

第一次世界大戦後も「戦争はしない」となった筈なのに、その後の広島・長崎の核兵器使用以前にできた国際的な規範では「集団的自衛権」を入れているために戦争をなくすことが出来なかったと説明しました。だからこそ核戦争を体験させられた戦後の日本国憲法は、絶対的な戦争廃止・武器も持たない世界最初の姿となったと強調しました。

自衛隊合憲論のカナメだった「専守防衛」が吹き飛んで、さらに敵基地能力も持ち出しているが、それでも憲法9条のリアリティがこれらの動きを阻止しているので、憲法9条をかかげて〝ストップ戦争〟の声をさらに広げようと締めくくりました。

会場の内外で、各運動の署名コーナーや書籍の販売もあり、充実した憲法集会となりました。

地域で民商をアピール【兵庫民商】

兵庫民商では、毎年恒例の秋の宣伝行動を11月12日に行いました。朝9時半から前日に印刷していた宣伝ビラ3千枚を皆で折り、行動の段取りを確認。

色あせたポスターや立看板を新しいものに付け替える作業と地域の商店などへのビラ配布をおこないました。あわせて、宣伝カーを走らせ、地域に「民商」をアピールしました。

宣伝カーは2台で大開通を南北へ。できるだけ大通りだけではなく細かい道まで入り込み運行。宣伝中、何人かの人が車に手を振ってくれました。

立看板・ポスターの貼り替えは車4台に分かれて移動。立看板25本、ポスター29枚を貼り替えました。色あせていた立看板やポスターは鮮やかさを取り戻しました。

ビラ配布は区内の3ヵ所の繁栄街地域にわかれ全ての店舗へ配布。会員の店にも宣伝用にと配り対話しました。参加者は一人でも多くの中小業者に「このビラを届けたい」との気持ちで配りきりました。

終了後、皆が弁当を持って帰り、拡大宣伝行動は終了しました。

（兵庫・中井通信員）

私の商売ものがたり NO.250

心を込めた手作りうどん

篠原敬一さん（手打ちうどん）はりま中央民商

加東市社のバスターミナルハルクに、手打ちうどん『孫心』があります。店主の篠原敬一さんは、幼馴染である仲埜あかねさんと香川県三豊市に『孫心』をオープン。「10年後には地元兵庫に戻って店を持ちたい!」という夢を叶え、昨年この地で店を構えました。

屋号の由来は、大好きだった祖母の思い入れを残したいことから名付けものです。

お客さんは年配の方から子どもまでと幅広く、香川県からの来客もあるそうです。

人気メニューは、釜揚げうどん。麺はすべて手作りで丹精を込めてつくりあげ、こしのある麺と評判です。篠原さんは「出来上がるまで時間はかかるが、待つ価値はある」と嬉しそうに話します。

「材料、光熱費、人件費の高騰が利益を奪い、生活のきびしさからか客足も悪い。民商はいつも来店してくれて、些細な事も相談に乗ってくれる。事務局の優しさに助けられる。大変な時だけど、地域の皆さんに喜んで頂けるうどんを提供していきたい」と篠原さんは語ってくれました。

手打ちうどん
孫心（まごころ）
〒673-1431
兵庫県加東市社
933-1 halK内
☎0795-42-5252

経営情報

免税事業者である飲食店でもお客から「会社の経費で落とすので、インボイスがついた領収書を」と求められる。1回の取引金額が1万円未満の場合、取引相手（お客様）の会社が「基準期間の課税売上高が1億円以下の業者」であればインボイスが無い領収証でも経費として認められます。

編集後記

インボイス制度が始まった。反対すると税の公平性という都合のいい言葉で片付けられるが、制度を学べば弱いものに負担がかかる制度だと気づき、怒りがわく。仲間と共に学び、業者つぶしの制度を廃止しよう。（H）